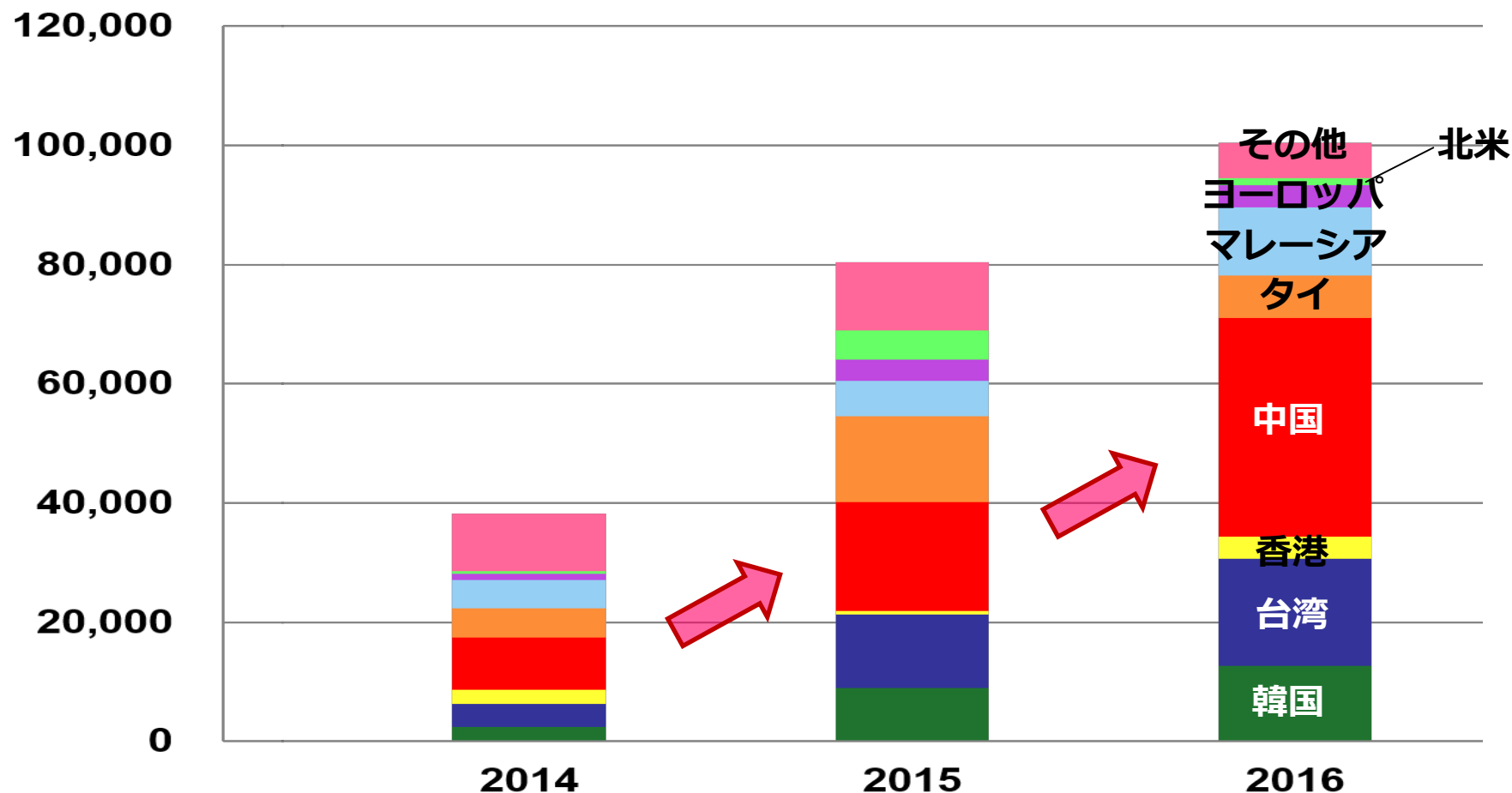


# インセンティブ旅行目的の訪日外国人の推移(国別)

- 全体的にインセンティブ旅行による訪日外国人の数は増えている。  
特に中国、台湾、韓国など東アジアからの伸びが顕著である。



1. 観光を取り巻く現状
2. MICEの現状
- 3. 政府におけるMICEの位置付けと具体的施策**
4. MICEの今後

## 「観光先進国」への「3つの視点」

### 視点 1

観光資源の魅力を極め、  
地方創生の礎に

### 視点 2

観光産業を革新し、国際競争力を高め、  
我が国の基幹産業に

### 視点 3

すべての旅行者が、  
ストレスなく快適に観光  
を満喫できる環境に

#### ■ あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現

- ・ 欧州・米国・豪州や富裕層などをターゲットにしたプロモーション、戦略的なビザ緩和などを実施
- ・ **MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善**
- ・ 首都圏におけるビジネスジエットの受入環境改善

#### ■ 疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化

#### ■ 古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ

# MICEの更なる国際力強化に向けた取組

官民

**MICE国際競争力強化委員会**  
(都市、CVB、事業者、有識者)

政府

**MICE推進関係府省連絡会議**



抽出された現状・課題

誘致競争力の相対的な低下

専門人材の量的・質的不足（特に、海外セールス人材）

政府内・産学官における連携不足

ミーティング／インセンティブにおけるKPI設定の難しさ

## MICE国際競争力の強化に向けた中間とりまとめ (平成29年8月に策定)

### 「4つの施策の柱」

MICE目標  
の設定

“都市の誘致力”  
の強化

幅広い業界と  
連携した  
誘致体制の強化

MICE人材の  
育成強化

# 国際競争力強化委員会 中間とりまとめ 概要

## 【現状と課題】

### 国際会議

**○誘致競争力の相対的な低下**

- 自治体のMICE・CBに対するバックアップ不足 (⇒CBの人的資源・財源の不足、定期的な人事異動による専門人材不足)
- 多様なニーズに対応するための地域内のステークホルダー間の連携不足
- JNTOとCBの役割分担の不明確さ (⇒効果の薄いプロモーション展開)
- ユニークベニュー候補施設側に意義・メリット等の理解不足 (⇒新たな施設の開放・利用が限定的)

### MICE全般

**○政府内・産学官における連携不足**

- 招請レターや在外公館によるロビー活動等政府部内での連携が不十分
- 海外のMICE先進都市に存在するような、政府関係者、MICEプレイヤーから構成される推進組織の不在

**○専門人材の量的・質的不足**

- 専門ノウハウを中長期的に蓄積していくために必要な人材育成プロセスの欠如
- CBの定期的な人事異動による専門人材不足

### 企業ミーティング/インセンティブ/展示会

**○ミーティング/インセンティブにおけるKPI設定の難しさ**  
(⇒ミーティング/インセンティブ関連の施策の不在)

## 具体的対策 (アクション)

### (1) MICE目標の設定

- 国際会議誘致のみの目標 (現状)

↓

Cに限らないMICE目標 (KPI) の設定へ【平成30年春】

### (2) 誘致に係る“都市力”の強化

- グローバルMICE都市・都市力強化対策本部の設置【平成29年度10月目処】
- 観光庁によるモチベーションの高い都市への集中的な支援【平成29年度予算事業・平成30年度予算要求】
- CB主導によるMICE関連地域ネットワークの強化
- CB主導によるユニークベニュー開発・活用促進【平成30年度予算要求】

### (3) 幅広い業界とのTEAM JAPAN組成による総力を挙げた誘致体制の構築

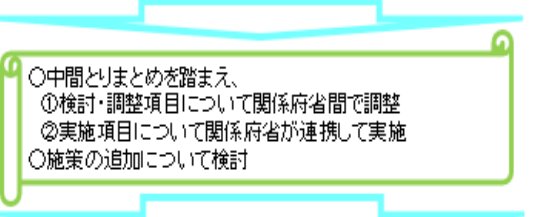
- MICE全般における政府一体となった取り組みの強化 (関係府省MICE支援アクションプラン中間とりまとめ 本年7月策定)
- MICE全般における経団連、商工会議所等と連携した取り組み強化【早期実施】

### (4) MICEプレイヤーにおける人材育成・強化を推進

- MICE人材育成協議会の設置【平成29年度10月目処】 (⇒業界を挙げた体系的な人材育成方法の検討)
- 学生インターンシップの受入強化支援の実施【平成30年度予算要求】

## 関係府省MICE支援アクションプラン中間とりまとめ (概要)

- |   |  |
|---|--|
| <b>(1) TEAM JAPANによる総力を挙げた誘致体制の構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際会議の誘致に向けた円滑な支援体制の構築</li> <li>MICE推進関係府省連絡会議の活用</li> </ul>                                    | <b>(3) 誘致力の更なる強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>JNTO・JETRO・在外公館等の連携による海外広報強化</li> <li>国際会議誘致に対する意識向上の促進</li> <li>国際会議の誘致支援に向けた日本学術会議との連携</li> <li>留学生OB人材へのアプローチの強化</li> </ul> |
| <b>(2) 開催地としての魅力向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国が開催に関わる会議におけるユニークベニューの積極的活用</li> <li>国立施設の円滑な利用に向けた取組</li> <li>魅力的で多様なMICE (特にM・I) 商品開発に向けてのニーズ調査</li> </ul> | <b>(4) その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>MICE施設の運営・整備のコンセッション方式の導入促進</li> <li>大型スポーツイベントの日本開催を契機としたスポーツMICEへの取組</li> <li>展示会分野でのインバウンド促進</li> </ul>                           |



関係府省MICE支援アクションプラン策定 (平成30年3月頃)

**来年春を目指す：MICE目標の設定・MICE支援メニューの充実・官民連携横断組織の構築**

1. 観光を取り巻く現状とMICEの意義
2. MICEの現状
3. 政府におけるMICEの位置付けと具体的施策
- 4. MICEの今後**

## ①様々な変化

- －市 民：外国人受入姿勢
- －政 府：文化財で稼ぐ（文化庁「文化経済戦略」平成29年12月策定）
- －地方都市：MICE施設の新設・拡張、コンセッション方式の導入等

## ②大型イベント

- －RWC(2019)、東京五輪(2020)、マスターズ(2021)、大阪万博(2025)

## ③誘致型＋創造型（日本主催・主導型）

- －輸出振興（インセンティブとのコラボレーション）、国際イノベーション会議（大阪）等

## ④好かれるMICE（メリット享受の多角化）

- －市民セミナー、社会的課題解決（若者国際化、人生100年時代）等

## ⑤beyond MICE

- －テクノロジー・遊休資産などの活用、新たなニーズ対応(SDGsなど)

## ⑥クラスターとしての集客





# NEW IDEAS START HERE



**Japan.** Meetings & Events  
*New ideas start here*